

障害のある人の 生涯学習について



鳥取短期大学幼児教育保育学科

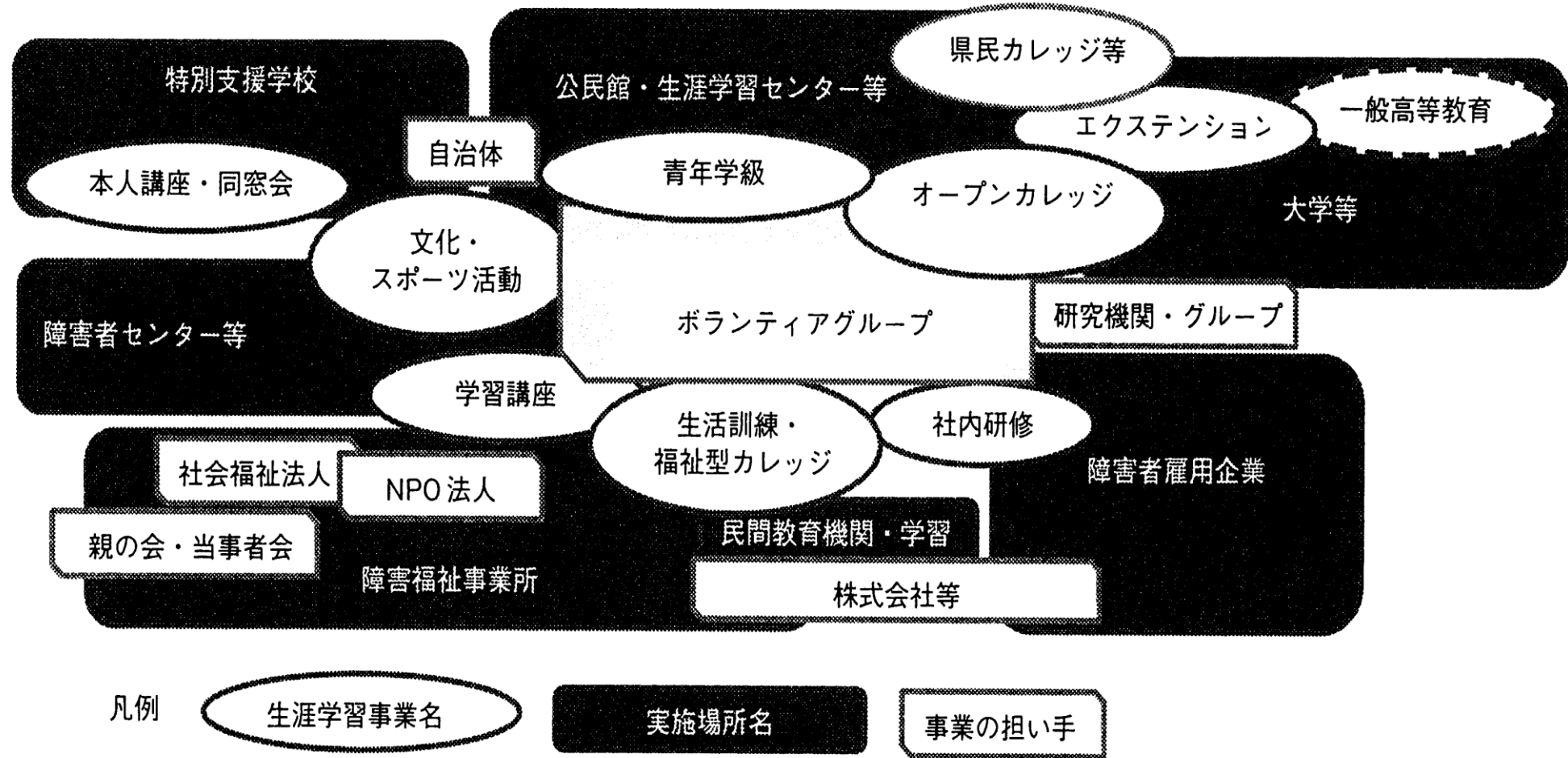
教授 國本 真吾

障害者の生涯学習を求める背景

2023年3月卒業	大学等 進学率	専修学校(専門 課程)進学率	就職率
高等学校	59.5%	16.8%	14.7%
特別支援学校	1.7%	0.4%	19.6%
視覚障害	30.6%	0.8%	11.6%
聴覚障害	36.3%	6.6%	30.0%
知的障害	0.4%	0.1%	21.0%
肢体不自由	2.2%	0.3%	3.8%
病弱・身体虚弱	6.7%	6.2%	9.7%

学校基本調査より
 ※「大学等進学率」は、大学の学部・通信教育部・別科、短期大学の本科・通信教育部・別科、高等学校・特別支援学校の専攻科への進学者

障害者の生涯学習の状況



出典:平井威(2014)「障害児者における高等教育と生涯学習について」梅永雄二・島田博祐編著『障害児者の教育と生涯発達支援(第3版)』北樹出版₃

地方自治体における障害者の生涯学習の状況

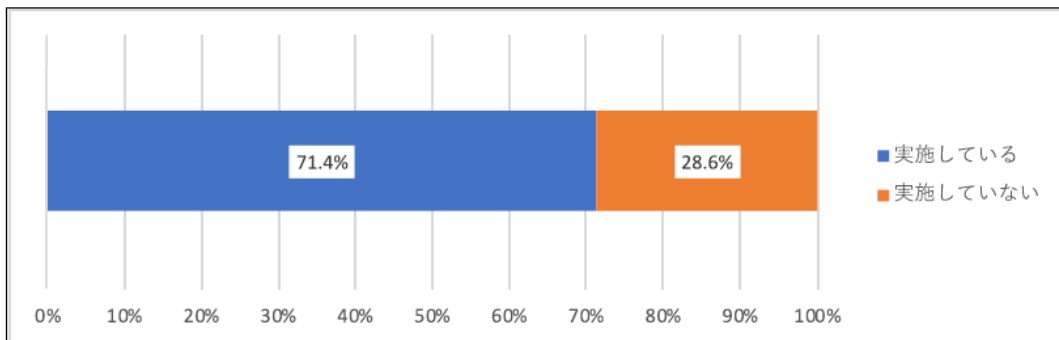


図 2-3-10 学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める事業・プログラムの有無【都道府県】(N=35)

都道府県

図表 2-27 学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める講座・プログラムの実施状況（複数選択）

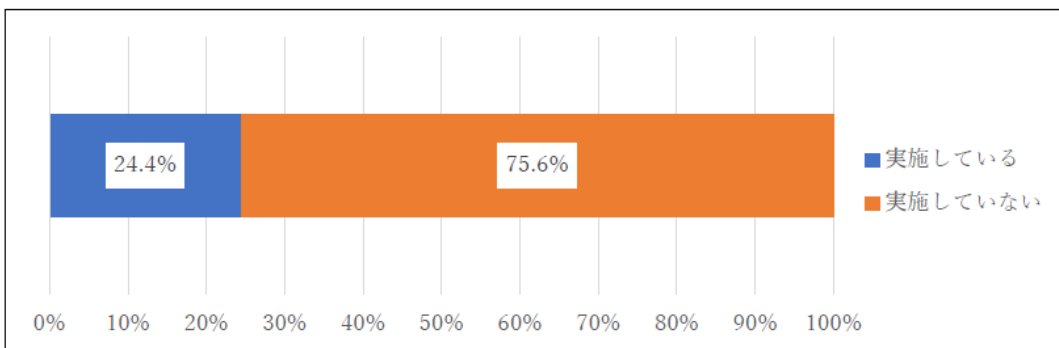
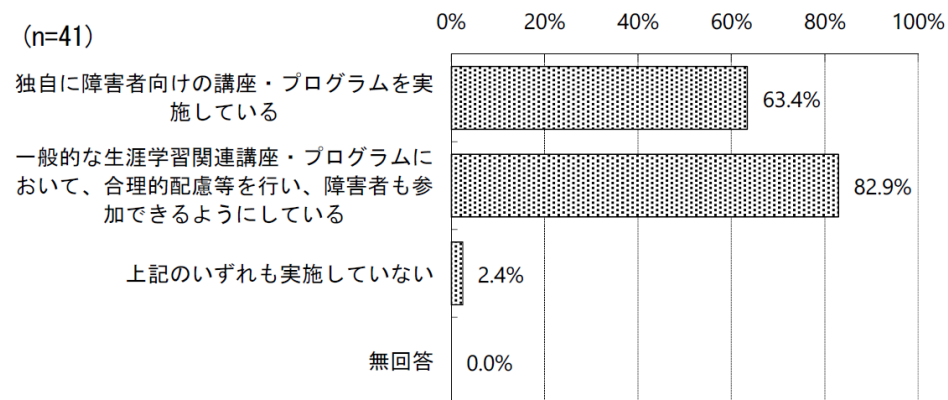
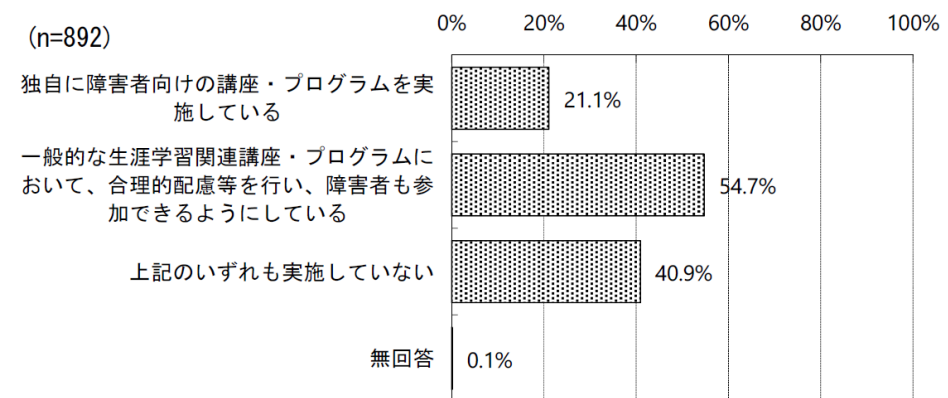


図 2-4-10 学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める事業・プログラムの有無【市区町村】(N=929)

市町村

図表 2-122 学校卒業後の障害者が生涯学習活動として取り組める講座・プログラムの実施状況（複数選択）



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2018)「障害者の生涯学習活動に関する実態調査 報告書」(平成29年度 文部科学省委託事業「生涯学習施策に関する調査研究」)

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(2023)「障害者の生涯学習活動に関する実態調査～地方公共団体及び障害者本人を対象とした実態調査～報告書」(令和4年度 文部科学省委託事業「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究」)

障害者の生涯学習支援

障害者の生涯学習の方向性

障害者の生涯学習の推進方策について(報告) 平成31年 より

【目指すべき社会像】

「誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会」

→誰もが、障害の有無にかかわらず学び続けることができる社会
→健康で生きがいのある生活を追及することができ、自らの個性や得意分野を生かして参加できる社会

【特に重視すべき視点】

- ①本人の主体的な学びの重視
- ②学校教育から卒業後における学びの接続の円滑化
- ③福祉、労働、医療等の分野の取組と学びの連携強化
- ④障害に関する社会全体の理解の向上

障害者の生涯学習の主な取組

障害者の多様な学習活動の充実

多様な学習モデルの構築と普及	障害者青年学級、訪問型、オンライン型、ICT活用、スポーツ・アート活動、公民館講座 等
多様な主体による学びの提供	社会教育施設等、大学、ボランティア・NPO、福祉事業所、学生サークル、企業 等
障害者の学びに関する理解促進	
「生涯学習」意識の醸成	学校教育から卒業後における学びへの円滑な移行 / 社会教育施設の利用体験促進 等
顕彰を通じた普及啓発	「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰
障害の有無にかかわらず、ともに学ぶ場を通じた理解促進	障害者参加型フォーラム（超福祉の学校） / コンファレンス（ブロック・テーマ別） 等
基盤整備	
持続可能な体制の構築	都道府県・政令指定市が核となったコンソーシアム / 自治体と民間団体の連携促進 等
学びの担い手の育成	自治体担当者のネットワーキング / コンテンツ集の提供 / コンファレンス（ブロック・テーマ別） 等
学びの場における合理的配慮と情報保障の推進	読書バリアフリーの推進 / 情報提供の工夫 / 情報取得、利用、意思疎通に係る施策推進

2016年 特別支援総合プロジェクトタスク
フォース

2017年 障害者学習支援推進室設置
大臣メッセージ
特別支援学校学習指導要領改訂

2018年 有識者会議設置
実践研究事業開始

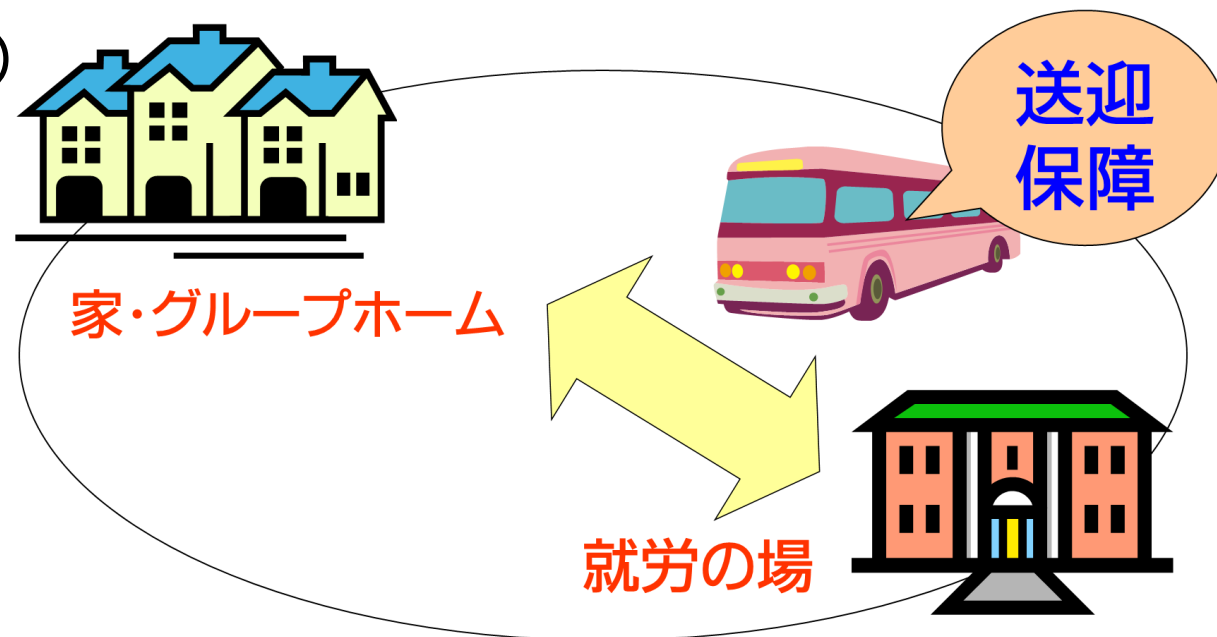


就労の意味

【就労施設長からの相談】月5万円の工賃を保障しているが、工賃を上げる努力をしても、その使い道も含めて社会資源が乏しい

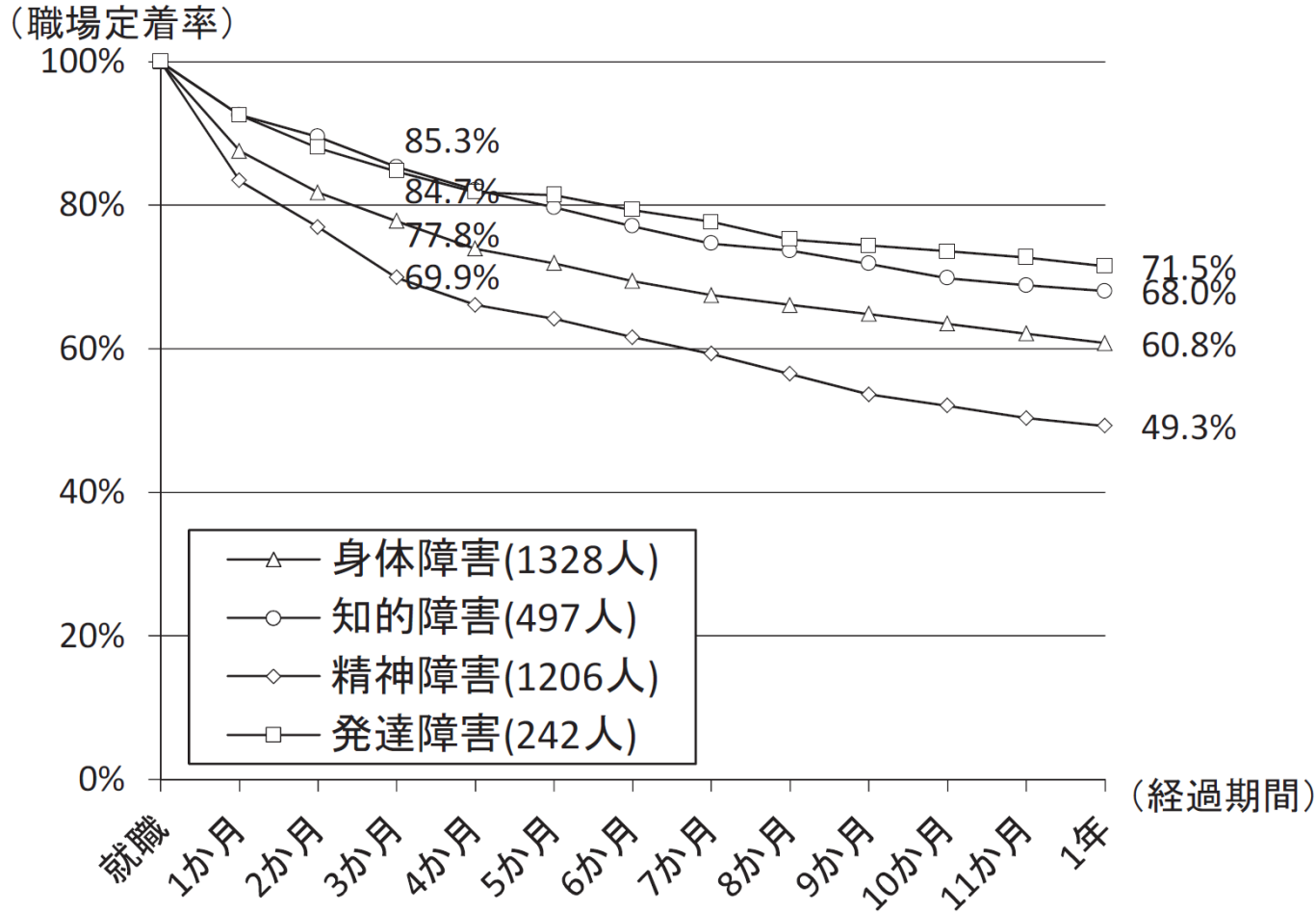
(参考)2021年度 工賃(賃金)の実績(厚生労働省)

全国	A型81,645円	B型16,507円
東京都	A型99,335円	B型15,563円
宮崎県	A型67,570円	B型20,225円
福井県	A型88,308円	B型22,093円
大阪府	A型83,748円	B型12,786円
鳥取県	A型86,477円	B型19,797円



一般的には「余暇」における消費の問題だが、「生きがい」のある生活が働く意欲(働き続ける)へとつながる

就労後の定着率



知的障害の場合、**就職後1年**
で**3分の1**が離職している

(一般企業への就職後に離職した際の
離職理由)
「自己都合」69.3%

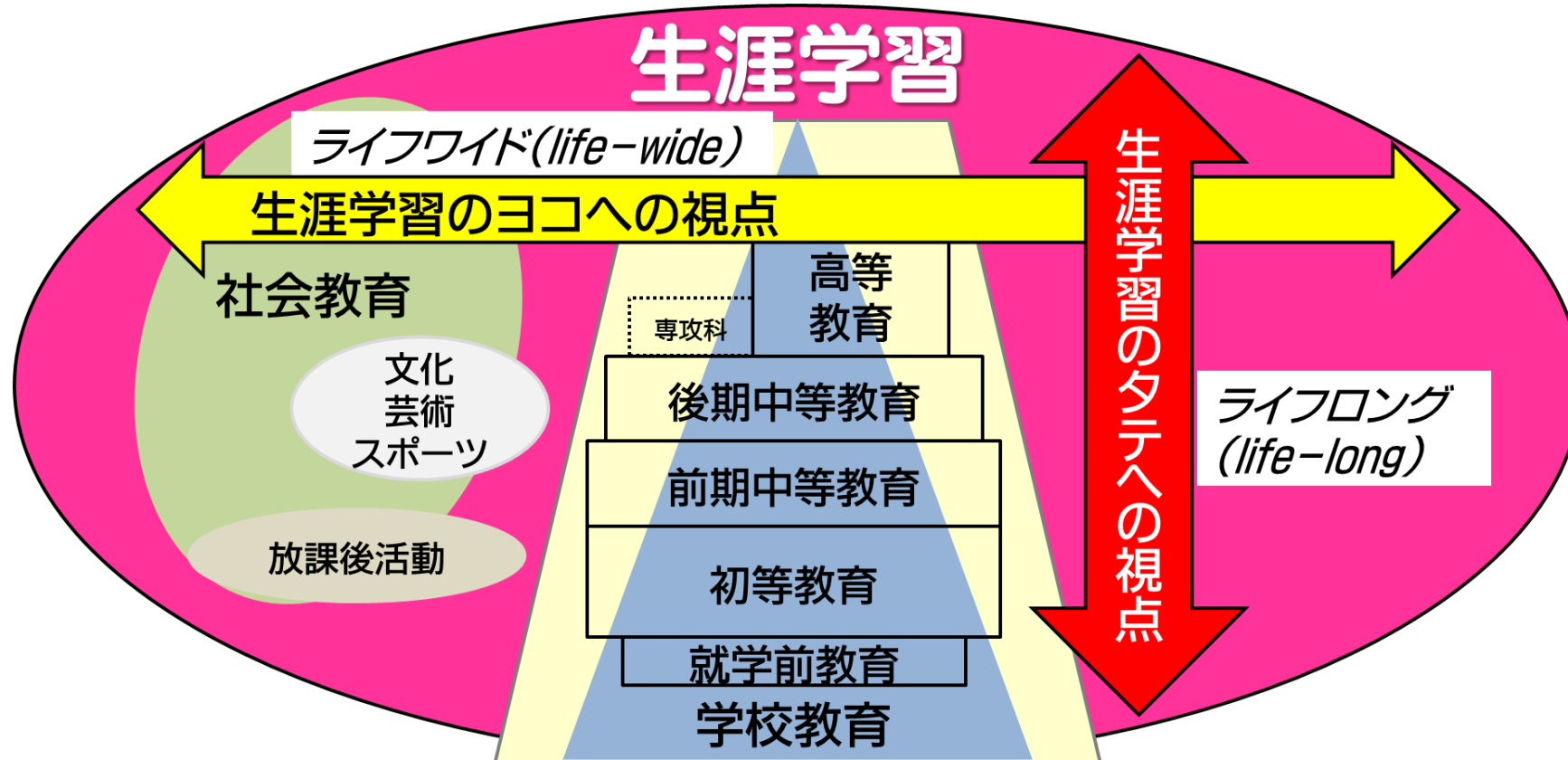
3か月未満で離職した者の具体的
な離職理由
「労働条件があわない」19.1%
「業務遂行上の課題あり」18.1%

3か月以降1年未満で離職した者
「障害・病気のため」17.4%

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構・障害者職業総合
センター(2017)「障害者の就業状況等に関する調査研究」

ライフワイドの視点から生涯学習を

障害者の生涯学習において、リカレントやリスキリングは時系列的(タテへの視点)な印象。それがすべてではなく、空間的または「今」の生活を豊かにする(ヨコへの視点)も必要。



國本真吾(2023)『ライフワイドの視点で築く学びと育ち』日本標準

近年の実践事例から

- 大学での履修証明プログラムを活用した知的障害者対象の学び(例:神戸大学)
- 公民館以外に図書館・博物館などでの障害のある人を対象とした学びの事業(例:国立民族学博物館など)
- 障害福祉サービス「地域活動支援センター」を活用した「生涯学習」機会を提供する事業(例:集いの場あゆみ)
- 「親亡き後」や「子離れ」から始まる、将来に向けた親子それぞれの学び(例:いずみ野福社会「親子みらいワーク」)

社会教育の場に限定しない発想も

「まちゼミ」とは？
お店の人が講師となって、専門的な知識や技術、コツを無料で教えてもらえる、街の中の少人数のゼミナールです。

全53講座 受講者募集
講座は5タイプ
学ぶ きれいな 健康 つくる 和文文化

2023 11月1日(水)~30日(木)
【主催】まちづくりレディース鳥取 【共催】鳥取商工会議所
【協賛】鳥取県中小企業団体中央会 【協賛】鳥取木商協会(協)、右衛門商店(協)、五右衛門商店(協)、新鳥取駅前地区商店会(協)、鳥取市市民会館(協)、鳥取市商工大会(協)、鳥取市商工大会(協)

受講料無料
内容によっては材料費がかかる場合がございます。
●材料費は原則として講座当日に会場でお持ち込み。
●各講座のキッズ料は、材料費を徴収する場合がございますのでご了承ください。

受講方法
各講座の申込方法に沿ってお申込ください。

申込時に以下の項目をお伝えください。
①お名前
②連絡先(郵便番号・メールアドレス)
③ご希望の講座名(希望)

受講者募集受付開始 10/30(月)
申込は各講座の申込方法に沿ってお申し込みください。

●定員になり次第、締め切らせていただきます。
●申込開始前日は電話登録の遅延が予想されます。ご了承ください。
●申込者名が確定している講座にございます。ご了承ください。
●各講座ごとに、申込みの順に受講料をお支払いください。
●小学生以下は保護者同伴のご参加をお願いいたします。

【観の観さびす】
(TEL)0857-22-8313

フクシマアート WEEKs 2023
10/28(土)~11/26(日)
障がいと共に生きるアーティストの作品をまちを彩ります。

鳥取市内では、中心市街地の商店街で毎年「まちゼミ」を開催。商店街内に構える就労継続支援の事業所(アートスペースからふる)が、アートを主とした活動を日々行っていることもあり、それを生かした形で参画。同時期に事業所が主催する事業(フクシマアート WEEKs)とも連動。

フクシマアート WEEKs 2023

ピックアップアーティスト ハルカ展「brilliant〜プリリアント〜」

わたしたちの「まち」で、フクシマアートに出会う30日間

<https://www.fukushiartweek.com/>

ハルカ展「brilliant〜プリリアント〜」 プリアントな色画の展覧会
10月28日(土)~11月26日(日)
11月11日(日) 入場無料

まちなかサテライトギャラリー アートで楽しむ、こころの宝庫
10月28日(土)~11月26日(日)
11月11日(日) 入場無料

まちなかアートポスター
10月28日(土)~11月8日(水)
11月11日(日) 入場無料

アートクルム 展覧から生まれた、アートの歩き方
11月11日(日)~11月26日(日)
11月11日(日) 入場無料

シャッターアート
11月11日(日)~11月26日(日)
11月11日(日) 入場無料

寄いサポートアートとっとり展
11月11日(日)~11月26日(日)
11月11日(日) 入場無料

公事展inとりアート2023 東部フェスタ
11月18日(土)~11月19日(日)
11月18日(土) 入場無料

汽水城アートシェアリング2023
10月28日(土) 10月29日(日)
10月28日(土) 入場無料

「まち」の宝探し スタンプラリーを開催!
11月11日(日)~11月26日(日)
11月11日(日) 入場無料

あじろアートととり展
11月11日(日)~11月26日(日)
11月11日(日) 入場無料

まちゼミ
11月1日(水)~30日(木)
11月1日(水) 入場無料

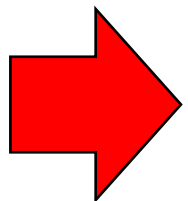
SDGs:Sustainable Development Goals

4 質の高い教育を
みんなに



すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

- 4.3 2030年までに、全ての人が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。
- 4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
- 4.5 2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子供など、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。

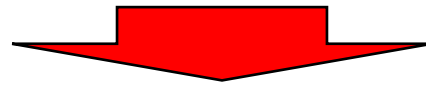


教育機関や行政だけではなく、企業や各種団体なども、SDGsの観点から障害者の生涯学習に寄与できる

国連・障害者権利委員会からの勧告内容より

障害者権利条約 第24条

5 締約国は、障害者が、差別なしに、かつ、他の者との平等を基礎として、一般的な高等教育、職業訓練、成人教育及び生涯学習を享受することができることを確保する。このため、締約国は、合理的配慮が障害者に提供されることを確保する。



51. 委員会は、以下を懸念する。

(f) 大学入学試験及び学習過程を含めた、高等教育における障害のある学生の障壁を扱った、国の包括的政策の欠如。

52. 障害者を包容する教育(インクルーシブ教育)に対する権利に関する一般的意見第4号(2016年)及び持続可能な開発目標のターゲット4.5及び4(a)を想起して、委員会は以下を締約国に要請する。

(f) 大学入学試験及び学習過程を含め、高等教育における障害のある学生の障壁を扱った国の包括的政策を策定すること。

障害者の生涯学習を推進するために

- 生涯学習活動の形は様々であること。そして、択一的ではなく多様な種類が必要。
- 高等教育機関における取組は、学位・非学位に関わりなく可能性がある。
- 学校機関や社会教育施設に留まらず、あらゆる立場が機会を提供できる可能性がある。
- そのためには、地方自治体レベルでも所管やライフステージを越えた連携・協働の発想が必要。
- 場や形態の議論に終始せず、障害のある人のウェルビーイングを実現する視点から生涯学習を。